

令和3年度 編入学・学士入学試験

専門科目 : 経済学 (近代経済学系)

以下のすべての問に解答しなさい。

[1] 以下の経済モデルが与えられているとする。以下の設問にすべて答えなさい。

所得均衡式 : $Y = C + I + G + NX$

消費関数 : $C = 22 + 0.6(Y - T)$ 投資関数 : $I = 130 - 20r$

総需要に関わる各変数の水準 : $G = 20, NX = 0, T = 20$

貨幣需要関数 : $L = 0.2Y + (410 - 10r)$ 実質貨幣供給量 : $M/P = 390$

ただし、 Y : GDP, C : 消費, I : 投資, G : 政府支出, NX : 純輸出, T : 租税, r : 利子率とする。

- (1) 政府支出 G が 20 から 60 に変化した場合を考える。この時の均衡の変化を横軸を Y 、縦軸を r にした図を用いて表しなさい。
- (2) 政府支出 G が 20 から 60 に変化するとともに、租税 T が 20 から 60 に変化したとする。この時の均衡の変化を横軸を Y 、縦軸を r にした図を用いて表しなさい。
- (3) (1) では政府支出を増やすために同額の国債を発行しているとする。この前提の上で、(1) と (2) の政策の効果について将来のマクロ経済への影響も加味した上で比較しなさい。
- (4) 実質貨幣供給量 M/P が 390 から 410 に変化した場合を考える (その他の変数は問題の一番最初に示した設定値で変化していないとする)。この時の均衡の変化を横軸を Y 、縦軸を r にした図を用いて表しなさい。

[2] X 財と Y 財の無差別曲線を考える。縦軸に Y 財の消費量、横軸に X 財の消費量をとるとする。以下の設問にすべて答えなさい。

- (1) 描かれる無差別曲線が一般的に右下がりとなることを説明しなさい。説明に際しては、必要に応じて図を用いてもよい。
- (2) 描かれる無差別曲線の傾きは経済学的にどのような意味をもつのか説明しなさい。説明に際しては、必要に応じて図を用いてもよい。

[3] ある財に関して、需要曲線が $Q_d = 30 - 2p$ 、供給曲線が $Q_s = p$ で表されているとする。ただし Q_d : 需要量, p : 価格, Q_s : 供給量とする。以下の設問にすべて答えなさい。

- (1) 市場均衡における需要の価格弾力性を求めなさい。
- (2) 1 単位あたり 3 の従量税が生産者に課されたとする。このときの税収を求めよ。
- (3) 消費者と生産者どちらが課税負担が大きいのか、どちらが大きいのか明確にした上で、その理由について説明しなさい。説明に際しては、必要に応じて図を用いてもよい。